

# 2日間にわたり 延べ128件の質疑

## まちづくりの 10年計画を可決



長期総合計画特別委員会の様子。新型コロナウイルス感染症対策として飛沫防止パネルを設置して審査を行いました。

### 長期総合計画特別委員会で審査

町側から議案の提出を受けた議会では、直ちに長期総合計画特別委員会を設置し、委員長に小川龍美議員、副委員長に村上嘉男議員を選出。議長を除く15名により、2日間にわたって審査を行いました。

今回の議会には、第4次瑞穂町長期総合計画が2年度をもって終了することに伴い、3年度を初年度とする新たな長期総合計画（計画期間10年間）を策定するため、町側から瑞穂町長期総合計画基本構想および基本計画の策定についての2議案が提出されました。基本構想は、瑞穂町が目指す将来都市像や方向性を示す行政運営の指針となっています。基本計画は、基本構想における将来都市像を実現するために、計画期間中の現状と課題を踏まえた上で、町が取り組む施策および基本的方向性が示されています。特別委員会での審査後、本会議において、基本構想、基本計画ともに賛成13名、反対2名で可決しました。

### 議案第90号 瑞穂町長期総合計画基本計画の策定について 討論(要旨)

賛成

村上 嘉男 議員

現計画を引き継ぎながら、新しい時代を切り開くための視点を取り入れた長期総合計画である。分野ごとに10年後の目指す姿を明記し、目標としている。さらに、目標を常に意識しながら、施策や取り組みについて、重視すべき視点を明確にしている点は、大変評価できる。第5次瑞穂町長期総合計画を遂行することで、福祉の向上を図り、人口減少や商業の衰退や交通不便地域の解消などを克服し、町民の期待するまちづくりにつながると確信する。  
森議員からも賛成討論がありました。

反対

大坪 国広 議員

移動児童館の最大の問題点は子供たちがいつでも利用できないこと。優先順位を高くして町の西側地区に子供たちがいつでも行ける「既存施設の活用を含め、新たな児童館確保を検討する」に改めるべき。  
横田基地は、オスプレイなどの旋回低空飛行やパラシュート降下訓練が続き、住民生活を脅かす状況が続いている。夜間の低空飛行ストップ、4年後のオスプレイ追加配備をやめさせる取り組みをするべき。  
現在進行中の2カ所の区画整理は、多額の予算と土地下落、建物移転費用で再三の見直しとなっている。超高齢化社会が進行する中で、新たな区画整理事業によるまちづくりは、見直すべき。  
近藤議員からも反対討論がありました。

### pick up 1 瑞穂町図書館の リニューアル工事が始まります

#### 議案第114号 瑞穂町図書館改修工事請負契約についてを可決

瑞穂町図書館は、昭和48年に建設され、その後、二度の増築を経て現在に至っています。誰もが利用しやすく、より本に親しめる快適な施設となり、住民協働で策定した「瑞穂町図書館改修工事基本計画」のメインコンセプトである「本や人とゆるやかにつながり、自分の居場所と感じられる図書館」を実現するため、改修工事を行うものです。

- Q 実際にいつから町民が使用できるのか。  
A 令和4年3月末を予定している。
- Q パソコンは使用できるのか。  
A Wi-Fiは館内すべて使用可能。パソコンの貸し出しや持ち込みも想定している。
- Q 太陽光発電など設置しないのか。  
A 検討したが、建物の負荷の軽減を考慮した。ただし、西多摩衛生組合のごみ処理発電で生じた電力を蓄電し、スマートフォンやタブレットなどの充電に使用できるよう組合と調整している。
- Q 隣接している瑞穂中学校への影響は。  
A 工事でグラウンドの一部を使用することになる。学校行事、安全面などについて学校と具体的な話を早急につめていく。

契約金額	590,700,000円 (落札比率98.71%)
契約相手	株式会社山武コーポレーション (武蔵村山市)
工期	令和4年1月31日まで

完成イメージ(北東方向より)



現在の様子(2月1日撮影)